

モジ・ダス・クルーゼス市臨床検査設備導入計画

2002年12月11日、サンパウロ州モジ・ダス・クルーゼス市デオダート・ウエーゼイマール保健所において草の根無償資金協力により導入された検査機器等の引渡式が開催されました。

同引渡式は、事業実施団体のモジ市からジュンジ・アベ市長、ペドロ・ヒデアキ・ノムラ市議会議長代理、ジョゼ・デ・モウラ・カンポス・ネット保健局長他関係者、セイゴ・ツヅキ元保健大臣、日系社会代表及び一般市民等の各分野から200名を越える参加を得て盛大に開催されました。

引渡式当日は、来賓挨拶の他、地元日系社会の子供による童謡が披露されるなど、和やかなとなりました。

各代表の挨拶終了後、アベ市長と当館赤阪総領事による供与された機材が保管される検査室の除幕が行われ、最後に式典参加者全員で導入機材の見学会が行われました。

○上記案件のプロフィール

案件名：「モジ・ダス・クルーゼス市臨床検査設備導入計画」

実施団体：モジ・ダス・クルーゼス市

契約署名日：2001年12月27日

供与限度額：US\$77,115

案件概要：本件は、同市が各保健所で採集された血液、尿、便等の検体を巡回車により回収し、これを市内保健所のうちの1ヶ所である「デオダート・ウエーゼイマール保健所」に新たに設置する臨床検査室に持ち込み基本的検査を実施、検査結果を各保健所にフィードバックする臨床検査システムを新たに構築するのに必要な検査機器等の一部（生化学分析装置、微量計量器、純水製造器、パソコン等）を購入する計画に対して実施されました。

同検査システムの構築により保健所を訪れる患者の病気、治療の診断に関する質的向上、検査の迅速化が図られ、同市保健所の基礎医療機関としての機能の向上が期待されます。



引渡式の様子



記念プレートの除幕（左からエルザ・アベ市長夫人、
ジュンジ・アベ市長、赤阪総領事、カンポス・ネット保健局長）



供与機材（生化学分析装置）



見学会の様子